

# 特集 “自家製授業”の発想

## 教科書を生かす

### 「ちょっといい味」「わたしのレシピ」

「ちょっといい味」を引き出す新発想

明日の授業を創る会

一 教科書の持ち味を生かすということ

食堂に置かれたしょう油やソース、塩、こしょうなどの調味料に客は自分の好みに合わせて手を伸ばす。しかし、すべての調味料を使い切る客はまずいない。

ひるがえって、教科書の使い方はどうだろう。教科書は、さまざまな生徒や教師にとって、自分たちに合った学習ができるように工夫されている。ちょうど、多種多様な調味料が用意されているようなものだ。わたしたち

習材を選んで使えと言われても…。」という声を耳にすることがある。キッチン調味料や食材を一気に使い切るつもりなのだろうかと驚いてしまう。

本誌では、学習指導要領に示された「栄養」を子どもに状況に合わせて調理する「レシピ」をいくつか集めてみた。これらがベストだと言いつもりは毛頭ない。機械的に教科書の内容すべてを教え込むよりも、毎日の授業が「ちょっといい味」になる新発想を、これらの「レシピ」から読み取っていただければ幸甚である。

### 三 本誌の内容と構成

#### (1) 全体の構成

八つの単元と漢字の学習について、次のような観点に基づいた学習の提案をしている。

三 領域の扱い方の比重を変更

特別な性格をもつ単元のねらいを生かして

(導入単元や総合単元)

「読むこと」を焦点化

取り上げた単元の一覧を下に示す。

#### (2) 事例の構成

タイトル：事例の特徴をひと言で示した。

教科書では：教科書の単元の構成と配当時間を示

《本誌で取り上げた単元一覧》

| 「読むこと」を焦点化                    | 特別な性格をもつ単元のねらいを生かして | 三領域の扱い方の比重を変更      |
|-------------------------------|---------------------|--------------------|
| 一年 好きな作品を選び、自ら取り組もう『少年の日の思い出』 | 一年第一単元『親友』(導入単元)    | 一年第四単元『魚を育てる森』     |
| 二年 本の世界を広げよう『走れメロス』           | 二年第五単元『物語が走る』(総合単元) | 二年第二単元『伝え合い』       |
| 三年第四単元『故郷』                    | 全学年共通漢字の学習          | 三年第一単元『日本語は乱れているか』 |

表には主な教材名のみを示した。

教師は、すべての調味料を料理に振りかけようとしていないだろうか。

教科書を全部教えたからOKだと考えるのは間違いだ。すべての子どもに保障しなければならぬのは教科書の内容ではなく、学習指導要領の内容である。学習指導要領の内容を網羅したうえで、発展的な学習や補充的な学習、課題学習などにある程度対応できるように作られているのが教科書なのだ。

教科書の持ち味を生かすためには、子どもの状況と学習指導要領の内容に照らして指導計画を立てなければならぬ。その学習に必要な学習材は、教師が決めるのだ。好みの調味料を選んで使うように…。

二 毎日を「ちょっといい味」にする「レシピ」

「授業時数の縮減で教科書が終わらない。」「必要な学

した。以降の内容と比較することにより、どんな点をどのように工夫したかが鮮明になるだろう。

基本的な考え方：どんな考え方で学習を構成したかを示した。

観点別評価の進め方：おおむね満足できる視点や、努力を要すると判断される生徒への対応を示した。

指導と評価の計画例：学習の全体が見えるように評価と計画例を示した。

この学習のポイントとなるところ：工夫したところや考え方をピックアップした。ワークシートや生徒の反応例も、必要に応じて示した。